世界を変える星となる。

star

2026

スター精密株式会社

〒422-8654
静岡県静岡市駿河区中吉田20番10号

代表者　代表取締役 社長執行役員 佐藤 衛
創　業　1947年2月
設　立　1950年7月

公式サイト

採用情報

企業理念

企業は永遠に発展させるもの
従業員の生活はたゆまず向上するもの

企業の役割

社員が能力を
最大限に発揮することが
できる場を提供する

共に
成長する

社員の役割

意欲ある同志的集団として
能力を最大限に発揮し
高い生産性を実現する

企業価値の持続的向上 ／ 社会の持続的発展への貢献 ／ 社員の人生を豊かに

スター精密の前身となる「株式会社スター製作所」は、戦後間もない1950年に設立されました。精密加工事業は最小の材料で最大の効果を生み出す事業です。戦後の焼け野原のなかで、創業者たちは「日本の復興や経済発展に貢献したい。そして、その志についてきてくれる社員の生活をよくしていきたい」という思いで当社を設立し、「企業は永遠に発展させるもの 従業員の生活はたゆまず向上するもの」というスローガンを掲げました。現在では、そのスローガンを当社の重要な哲学とし、企業理念として再定義しています。

パーパス（存在意義）

世界に挑戦する
「偉大な中小企業」として
社会の持続的発展に貢献する

スター精密は、意欲ある同志的集団として、新しい価値を世の中に提供し、企業価値を高め続けるとともに、同じ志を持った社員がその能力を最大限に発揮できる場を提供することで社員の人生を豊かなものにし、同時に集団として大企業にも負けない高い生産性を実現することによって、日本の中小企業の先駆けのような存在でありたい、世界に挑戦する偉大な中小企業、グレートスモールカンパニーとして、社会の持続的発展に貢献していきたいと考えます。

経営方針

1 ── いたずらに規模を追わず、**資本効率**と**労働生産性**を最重要評価指標とする。
2 ── 環境の変化に合わせて**新たな価値を継続的に生み出す機能**を有する。
3 ── 個々の事業においては常に世界市場を見据え、**グローバルニッチ**を戦略の柱とする。
4 ── **社員がその能力を最大限に発揮することができる環境構築のための投資**、および**独自技術を追求するための投資**は、長期的視野に立ち、事業環境に関わらず継続する。
5 ── 事業を通じて社会と共に**永遠に発展する企業**を目指す。

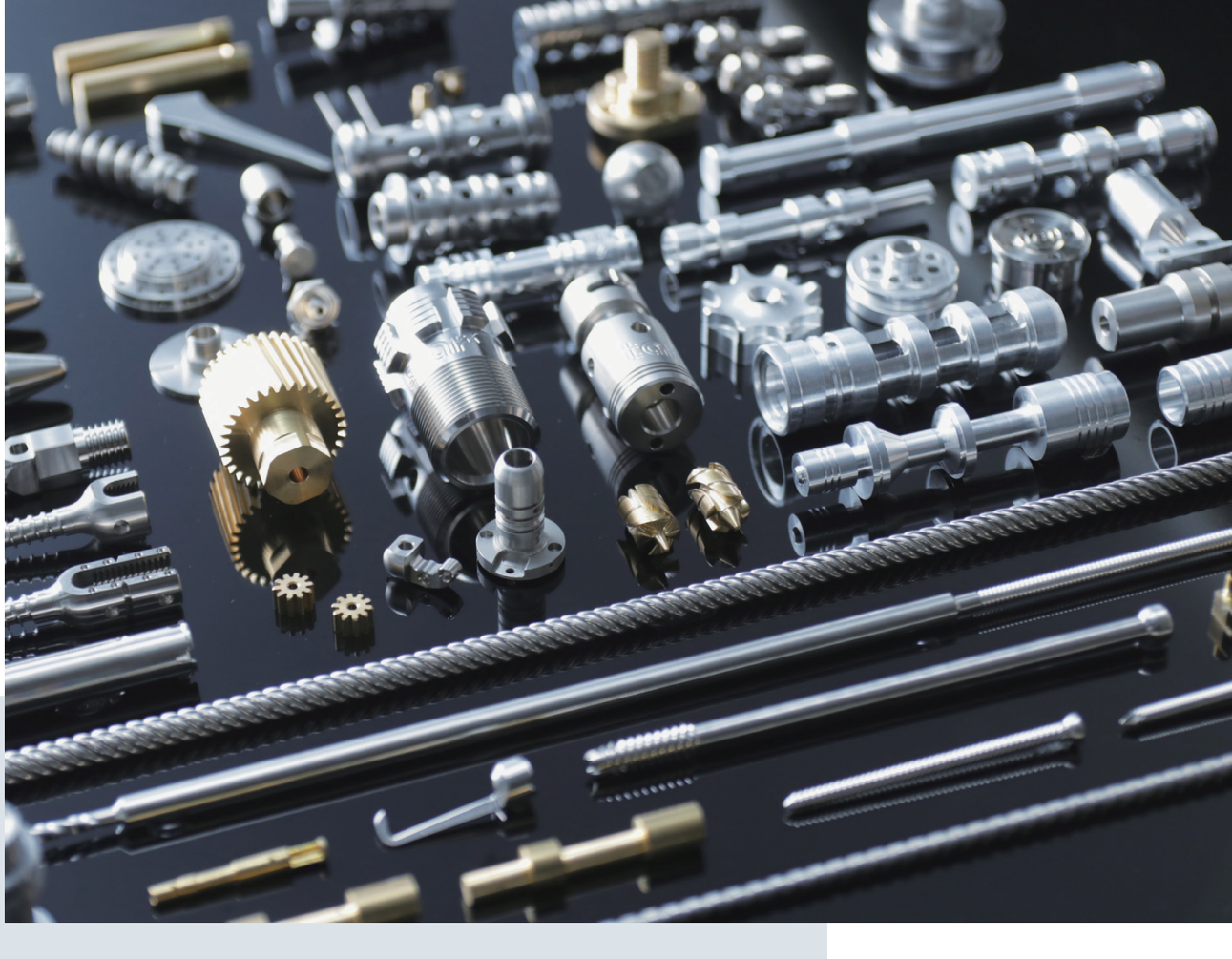
行動指針

みずから行動する
自身の仕事に
責任と誇りを持ち、
主体的に考え、
判断し、行動する。

学び続ける
志高く、自身と企業の
価値向上のため、
常に学び続け、
成長し続ける。

技術にこだわる
社会に新しい価値を
提供するため、
技術を追求し、
技術を磨き続ける。

集団としての価値を重視する
仲間を尊重し、
力を合わせ、
同志的集団として
高い生産性を実現する。



トップメッセージ

当社は、1950年の設立以来「最小の材料で最大の効果を生み出す事業」を目指し、独自の技術を生かして高付加価値製品をつくり出してきました。また、早い時期から世界市場を視野に入れ、グローバルかつニッチな分野で進化と発展を遂げてきました。

これまで当社は、コア技術である「精密加工技術」「精密組立技術」「高精度位置決め制御技術」を徹底的に磨き続けてきました。ここで培われた唯一無二の技術力と、ユーザー視点に立脚した開発力を強みに成長市場へ挑戦し、世界が求める製品を生み出してきました。常に成長分野に身を置くことで会社は成長し、従業員の幸せも実現できる――この基本姿勢は、今も昔も変わりません。

これからも当社の大切なDNAである「企業は永遠に発展させるもの 従業員の生活はたゆまず向上するもの」という言葉を胸に、社会と共に持続的に発展する企業を目指します。



代表取締役 社長執行役員

佐藤 衛

スター精密の技術で生み出された製品は、
皆さまの身近なところで活躍しています



スター精密の事業



工作機械事業
（自動旋盤）

小型の精密部品を高精度かつ大量に切削加工できる工作機械をつくっています。自動車やデジタル機器など、さまざまな分野で高機能化や小型化が進むなか、精密加工と高効率を兼ね備えた当社製品の活躍の場は広がっており、未来の製造業を支える重要な役割を果たしています。



特機事業
（小型プリンター等）

さまざまな店舗や施設などで、主にレシートやラベルなどの発行に使われる業務用小型プリンターをつくっています。お客さまの声を形にした「使いやすさ」と「美しく見やすい高速印字」が特徴です。さらに、独自のクラウドサービスも展開し、ハードとソフトの両面から店舗の円滑な運営をサポートしています。



新規事業

長年培った「精密加工技術」「精密組立技術」「高精度位置決め制御技術」といったコア技術を生かし、新規事業を開発します。工作機械や小型プリンター等で磨いた技術を活用し、ニーズの高まる成長分野へ事業領域を拡大。事業部門間の連携を強化し、研究開発を推進するほか、外部との協業も進めます。

世界に挑戦する“グレートスモールカンパニー”



グローバルネットワーク※

世界 10カ国 17社

グローバルニッチを追求

世界に進出しながらも単に規模拡大を目指すのではなく、独自の技術力を強みとして、
あえて特定の分野・市場に特化しています。

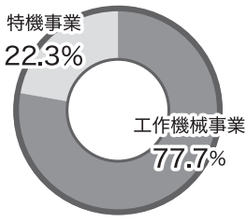
※ グローバルネットワーク（国・地域）

米州…… スターCNC マシンツールCorp.（米国）／スターマイクロニクス アメリカ・INC（米国）／スターアメリカホールディング・INC（米国）
欧州…… スターマイクロニクス GB・LTD（英国）／スターマイクロニクス ヨーロッパ・LTD（英国）／スターマイクロニクス・AG（スイス）／
スターマイクロニクス・GmbH（ドイツ）／スターマシンツール フランス・SAS（フランス）
アジア…… 斯大精密（大連）有限公司（中国）／上海星昂機械有限公司（中国）／天星精密有限公司（香港）／
スターマイクロニクス（タイランド）Co., LTD（タイ）／スターマイクロニクス インディアPvt. LTD（インド）
日本…… スターメタル（株）／（株）ミクロ札幌／スターマーケティングジャパン（株）／（株）スマート・ソリューション・テクノロジー

最新のグローバルネットワーク

数字で見るスター精密 2025

連結売上高



745億円

海外販売比率



90%

販売台数（年間）



〈工作機械〉
4268台



〈プリンター〉
42万8千台

設立

75年

従業員数

〈単体〉 527名
〈連結〉 1673名

1人あたりの年間教育費用

14万円

年間休日

135日
（有給休暇一斉取得日の5日間含む）

創業の精神とこれまでの歩み ～小さな町工場。6人の挑戦が世界を変える～

創業当時は12坪ほどの小さな工場に、社員はわずか6人でした。戦後間もない、物の無い時代のなかで「最小の材料で最大の効果を生み出す」という言葉を掲げ事業をスタートした私たちは、常に時代や事業環境の変化を的確に捉え、チャレンジを続けてまいりました。



1950 (株)スター製作所を設立

腕時計・カメラ用部品等の製造、販売を目的として、静岡県静岡市手越(現 静岡市駿河区手越)にて資本金50万円をもって(株)スター製作所を設立

1958

カム式自動旋盤の販売を開始

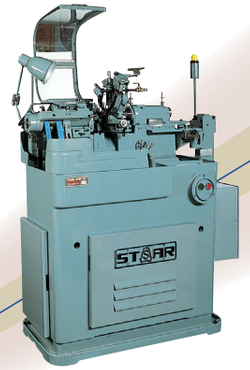
もともと腕時計・カメラ用部品を製造していた当社がカム式自動旋盤を完成させ、販売を開始

➡「工作機械事業の誕生秘話」へ



1962 自動旋盤の輸出を開始

輸出第1号機が英国へ。海外への販路を開拓し、シェアを着々と拡大



1965

スター精密(株)に社名変更

1960年にシチズン時計(株)との共同出資により東海精密(株)を設立。その後、東海精密(株)を吸収合併し、社名を変更



1976

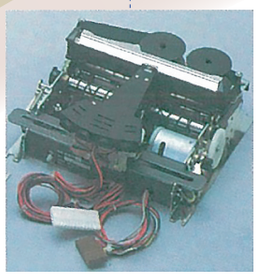
NC自動旋盤の製造・販売を開始

NC(数値制御)装置を搭載した自動旋盤の製造を開始。独自のアイデアと機構を盛り込み、好評を博した

1977

初の海外販売子会社を設立

プリンターや当時製造していた小型音響部品を販売する拠点として米国・ニューヨークにスターマイクロニクスアメリカ・INCを設立



1979

小型プリンターの製造・販売を開始

普及しつつあったパソコン市場を成長分野と捉え、プリンターを開発

➡「特機事業の誕生秘話」へ

1981

名古屋証券取引所 第2部に株式上場

1984年に名証第1部へ市場変更。2006年に上場廃止

1984

菊川工場を新設

工作機械の生産拠点を静岡県小笠郡菊川町(現 菊川市)に新設

1989

中国に生産拠点を設立

中国・大連市にプリンターの生産拠点として斯大精密(大連)有限公司を設立。現在は工作機械の生産拠点として稼働



1990 東京証券取引所 第1部に株式上場

2022年に東証第1部からプライム市場へ移行。2026年3月に上場廃止



2002

スイス型CNC自動旋盤 SBシリーズが誕生

コストパフォーマンスに優れるベストセラー機、SBシリーズ(SB-16)を発売開始



2005

レシートプリンター TSPシリーズが誕生

当時、世界的に有名な百貨店やファストフード店に採用され、現在も人気を博すTSPシリーズ(TSP100 futurePRNT)を発売開始

2012 タイに工作機械の生産拠点を設立

タイ・ナコンラチャシマに工作機械の生産拠点としてスターマイクロニクス(タイランド)Co.,LTD(現)を設立



2020 新本社ビル竣工

高い防災能力を備え、新たなワークスタイルを積極的に導入

2023 SSTを完全子会社化

非接触式ICカードリーダーライターや音波によるデータ通信技術を活用したシステムを開発・販売する(株)スマート・ソリューション・テクノロジー(SST)がグループの一員に



2024

インドに工作機械の販売拠点を設立

インド・ベンガルールにスターマイクロニクスインディアPvt. LTDを設立



2026 菊川南工場竣工

工作機械の生産拠点として、環境配慮と製造の効率化を両立する工場が完成

工作機械事業の誕生秘話

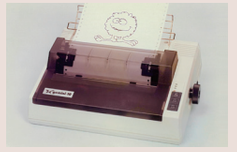
創業当初、中古の自動旋盤を使って、腕時計・カメラ用部品をつくっていました。しかし、それでは急増する注文に追いつけなくなり、ついには自前の設備として高精度な自動旋盤を製作・完成させるに至りました。この自動旋盤が評判を呼び、外販が始まり、今日の工作機械事業につながります。「ユーザーがユーザーのためにつくった自動旋盤」。常にお客さま目線でのものづくりの源流は、まさにここにあります。



時計部品の組立の様子

特機事業の誕生秘話

1970年代には新たな成長分野への進出を目指し、置き時計のOEM製作やその中に組み込む電子ブザーの開発に着手しました。工作機械で培った高精度な制御技術と、電子ブザーなどの音響部品の製造で培った電子工学の技術を組み合わせることで、当時主流だったドットプリンター(大型・小型)を開発し、それが今日の特機事業につながっています。



当時人気を博した大型プリンター

製品情報　Instagram

工作機械事業（自動旋盤）







ニッチでトップな工作機械をつくっています

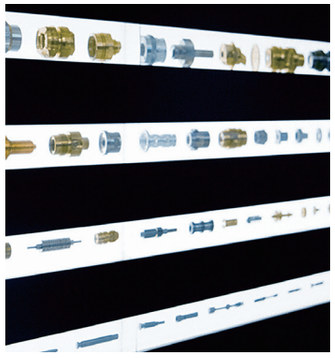
工作機械とは、金属などの材料を切る・削る・曲げる、延ばすなど、いろいろな形に加工する機械です。私たちが暮らしのなかで触れるあらゆるものは、工作機械でつくられた部品からできています。工作機械は機械をつくるための機械ということで、「マザーマシン」と呼ばれることもあります。

当社の主力製品である「スイス型CNC自動旋盤」は、工作機械のなかでも「とても小さい精密部品を大量につくることができる」特殊な機械で、部品を1ミクロン（1000分の1ミリ）単位で複雑な形に加工することができます。また、コンピューター制御による自動運転によって24時間無人で加工を続けることができるので、少人数でも多くの部品をつくることができます。

生み出される部品は、腕時計やスマートフォン、自動車など、身近な製品に使われています。最近では、AIデータセンターやヒューマノイドロボットなどの分野にも、活躍の場を広げています。

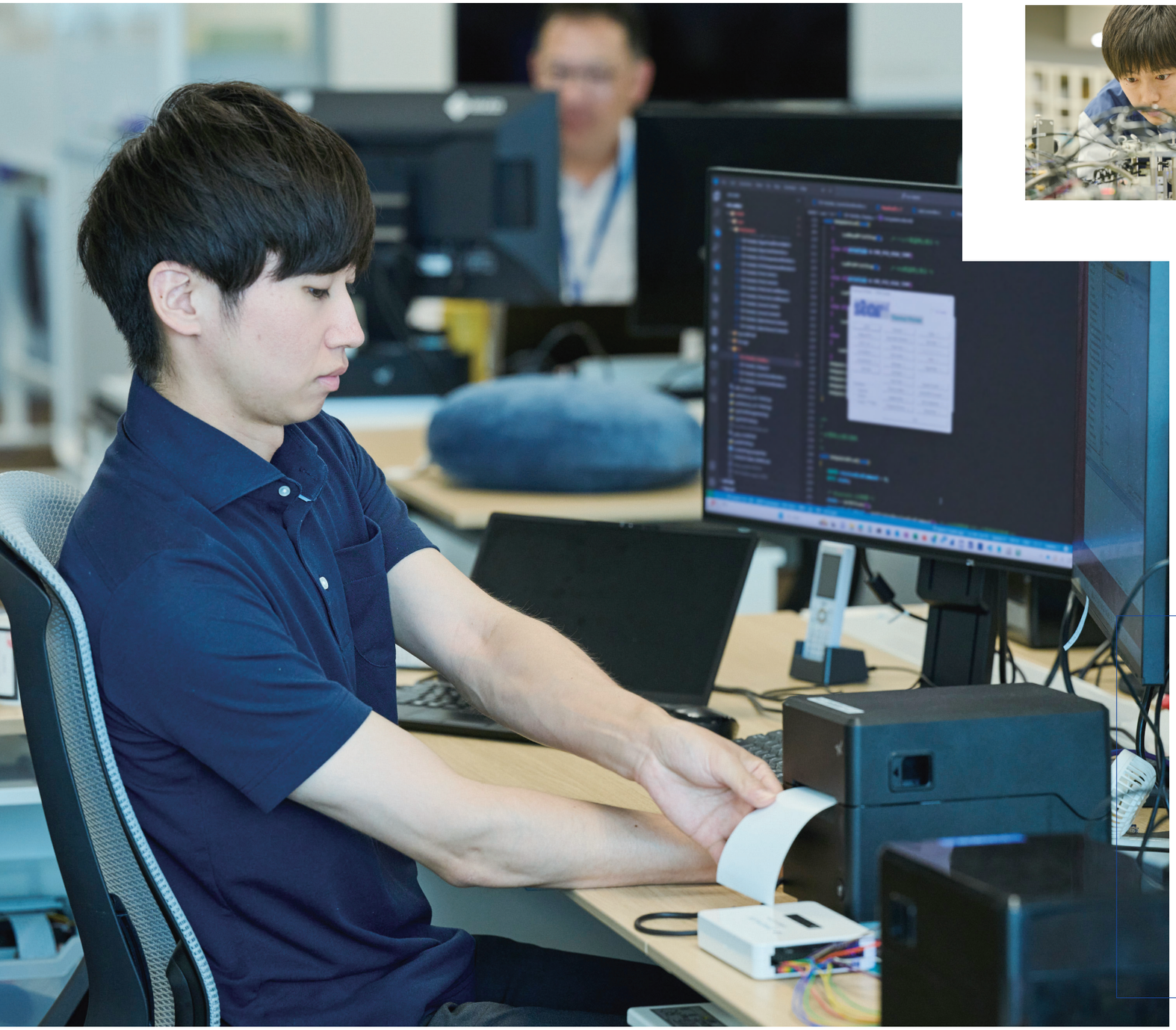
医療分野の成長も支える当社製品

多くの分野で活躍する当社の工作機械ですが、近年、医療分野でも需要が高まっています。歯科インプラントや骨を固定するためのボーンスクリューなど、治療に必要な部品の多くはチタンをはじめとする「難削材」（削ることが難しい材料）でつくられています。難削材の加工には剛性（力を受けても変形しにくい性質）の高い工作機械が必要です。当社の工作機械は独自の設計・構造や、匠の技によって非常に高い機械剛性を実現しています。この強みを生かし、成長を続ける医療分野のものづくりを支えています。


さまざまな分野で活躍する精密部品

製品情報

特機事業（小型プリンター等）







ユーザーに寄り添う小型プリンター

飲食店、小売店などのレシートやラベルを印刷する業務用小型プリンターの企画から開発、製造、販売、アフターサービスまでを一貫して行っています。

当社のプリンターは、お客さまの声を形にした「使いやすさ」や「美しく見やすい高速印字」が特徴です。また、スキャナーやキャッシュドロアーなどのレジ周辺機器との接続性に優れ、タブレットPOS（販売時点情報管理）システムとの連動において、高い評価をいただいています。

ほかにも、独自のクラウドサービスを提供しており、スマートフォンやタブレットなどで簡単にプリンターの情報が確認でき、レシートへのクーポン付与やラベルの自由なデザインなども簡単に行えます。店舗や施設の円滑な運営をハードウェア・ソフトウェアの両面からサポートしています。

お客さまのニーズを形に

2025年8月、2インチ（58ミリ）幅以下の小型ラベル用紙の印刷に特化したラベルプリンター「mC-Label®2」を販売開始しました。本製品は「省スペースでの設置をしたい」や「ラベル用紙のランニングコストを削減したい」といったお客さまからの要望に応えるため、従来機以上に無駄のない小型設計を採用。また、業界初※の前面用紙排出・前開き用紙交換構造を実現し、棚下などに設置した状態での運用が可能となりました。当社はお客さまのニーズを反映する企画力の高さとフットワークの良さから、「業界初」「業界唯一」の製品を多数世の中に送り出しています。

※当社調べ。用紙幅2インチ（58ミリ）幅強粘着ライナーレスラベルプリンターカテゴリーにおいて



省スペース設置が可能な製品を開発

新規事業







これまで培ってきたコア技術を新領域へ

長年培ったコア技術である「精密加工技術」「精密組立技術」「高精度位置決め制御技術」を生かすことができる分野で新規事業を開発していきます。

当社は工作機械や小型プリンターだけでなく、過去には小型音響部品の開発にも取り組むなど、時代やお客さまのニーズに応えるべく技術を磨き続けてきました。そのなかで進化を遂げてきたコア技術を活用し、ニーズの高まる成長分野へ事業領域を拡大していきます。

事業部門間の連携を強化し、研究開発を推進するほか、外部パートナーとのオープンイノベーションも活用します。

ミクロン単位のこだわりが切り拓く新規事業

新規事業の一つとして、メディカル事業の探索をしています。メディカル分野では、体に負担の少ない低侵襲（ていしんしゅう）な診断・治療が普及し、より正確で微細な処置を実現する技術が発展しています。それに伴い、小型の精密加工・精密組立のニーズも一層高まっています。当社は、マイクロサージャリー（直径1ミリに満たない血管や神経などを、手術用の顕微鏡や微細な手術器具を使用して縫い合わせる手術の技術）を支援するロボットを開発するF.MED（エフメド）株式会社に出資するなど、スタートアップ企業への投資・協業も行っています。今後も当社の強みである「ミクロン単位のこだわり」を生かせる領域で、新たな価値を生み出し続けます。



手術支援ロボットの完成イメージ

サステナビリティ基本方針

スター精密グループは、「企業と社員が共に成長し、社会に貢献する」という基本的な考えのもと、その実践を通じて持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

- 中長期的な目指す姿を掲げ、独自技術から生まれる新たな価値を社会に提供します
- 培ってきたグローバルネットワークを活用し、世界共通の社会的課題の解決に取り組みます
- 全てのステークホルダーとの対話と連携を通じ、公正かつ透明性の高い経営を実現します

最新のサステナビリティ　最新のISO取得状況

環境についての取り組み

企業として持続的に発展していくため、その前提となる地球環境の保全に貢献すべく、環境負荷を抑え、環境と調和した事業活動を目指しています。環境に関する重点課題（マテリアリティ）として、「気候変動への対応」「環境配慮型製品の創出」の取り組みを進めています。

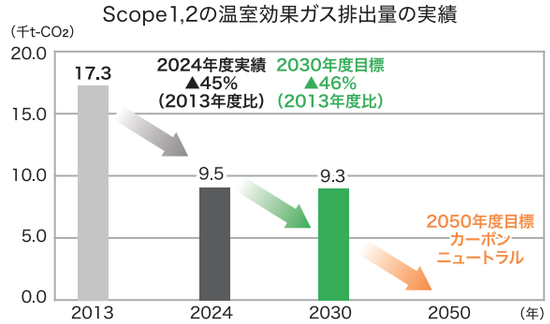
気候変動に対する当社グループの方針と目標

2023年2月に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言への賛同を表明し、気候変動が事業に与える影響とそれによるリスクと機会をシナリオに基づいて分析し、事業戦略へ反映していく取り組みを推進しています。

気候関連リスクと機会を管理するために温室効果ガス排出量を指標としています。当社グループでは、Scope1,2について、「2030年度に2013年度比46%削減」「2050年度に実質ゼロ」の目標を設定しました。環境配慮型製品への取り組み、国内外の拠点で使用するエネルギー量の低減などを通じて、温室効果ガス排出量の削減を推進しています。

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

Scope1,2の温室効果ガス排出量の実績



取り組み事例❶ 工作機械事業「ECOモードの開発」

待機時の消費電力を削減するECOモードを開発しました。ECOモードは機械が待機状態にあるとき、機械内の消費電力量の多くを占めるパーツについて不要なときはオフにすることで、最大約30%（当社予想値）の消費電力を削減します。



取り組み事例❷ 特機事業「脱プラスチック」

プリンターの梱包に多用されていたプラスチックの梱包袋をなくしました。緩衝材には100%古紙を利用したパルプモールドを使用することで、循環型社会の実現に貢献しています。





取り組み事例❸ 環境配慮型製品を支える自社工場の取り組み

2025年12月に稼働を開始した菊川南工場では、省エネルギー性能の指標である「建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）」で、ZEB※1ならびにCASBEE評価認証※2における最高位Sランクの両認証を取得しました。高断熱性能を持つ外皮（外壁・屋根・窓）や太陽光発電パネル約800kWの設置などにより高水準の省エネ、創エネを実現し、一次エネルギー消費量を従来建物比で111%削減しました。



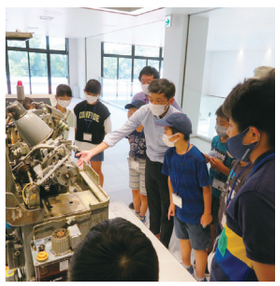
※1「Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の略称で、建築物が消費する年間の一次エネルギーを収支ゼロとすることを目指し、指定機関が認証を行う。
※2「建築環境総合性能評価システム」として、国土交通省、一般社団法人住宅・建築SDGs推進センターが開発した、建築物の環境性能や品質を総合的に評価するシステム 。

地域への貢献

地元・静岡を拠点とするプロスポーツチームや地域を盛り上げるイベントへの協賛をしており、パラスポーツイベントには社員がボランティアとして参加しています。地域の小中高生の工場見学受け入れや学校への講師派遣なども行っています。また、海外拠点でもボランティア活動をはじめ、募金や森林保護活動などを行っています。









人を大切にする取り組み

心身共に健康に過ごす

「健康経営優良法人2026」（大規模法人部門）に認定されています。健康経営を推進し、従業員一人ひとりが健康に働ける職場づくりを目指します。

柔軟で多様な働き方を推進

次世代育成支援対策推進法に基づき、育児両立支援のための制度を整備し、2020年に「子育てサポート企業」として、特例認定マーク「くるみん」を取得しています。

ISO認証の取得

環境に配慮したものづくりを継続的に

機械事業部では、環境マネジメントシステムISO14001認証を取得しています。ISO14001は、CO_2排出や廃棄物、エネルギー消費などの環境負荷を低減し、持続可能な事業活動を行うための国際的な基準です。特機事業部を含む本社部門でも同規格に準拠した環境管理体制を整備し、自己適合宣言を行っています。

スターブランドを支える品質管理

グローバルにビジネスを展開するうえで、持続可能な生産・調達を推進しています。それを支える一つとして機械事業部および特機事業部では、品質マネジメントシステムISO9001認証を取得しています。ISO9001は、製品やサービスの品質を継続的に管理・改善する仕組みを整え、顧客満足度を向上させるための国際的な基準です。